



# JSQC ニュース

No.229

発行 社団法人 日本品質管理学会

東京都杉並区高円寺南1-2-1 日本科学技術連盟東高円寺ビル内

電話.03(5378)1506 FAX.03(5378)1507

ホームページ:www.jsqc.org/

## - 創立30周年記念 - 特集号

### 30周年記念シンポジウム開催される!

去る5月25日(金)、本学会創立30周年を記念したシンポジウム並びに2001年度品質管理推進功労賞授賞式が早稲田大学国際会議場において、また同祝賀会が大隈庭園を望むガーデンカフェテリアにおいてそれぞれ盛大に開催されました。当日は平日にもかかわらず、絶好の五月晴れのもと、250名以上の参加者を得て成功裡のうちに無事閉会となりました。

#### < シンポジウム >

開会挨拶 狩野 紀昭 氏 当学会 会長

品質管理推進功労賞 授賞

基調講演 椎名 武雄 氏

日本IBM 最高顧問

パネリスト: 橋本 寿朗 氏

法政大学教授 経営学部

藤田 昌宏 氏

経済産業省通商政策局

高橋 朗 氏 デンソー会長

橋詰 昭夫 氏

九州松下電器 品質管理部長

司 会: 狩野 紀昭 氏

#### < 記念祝賀会 >

開会挨拶 山岡 建夫 氏

30周年記念事業実行委員会

委員長

祝 辞 太田 宏 氏

日本経営工学会 会長

Prof. Dr. Yoshio KONDO

Chairman, IAQ



#### 30周年記念シンポジウム開会の辞(要旨)

狩野紀昭

本学会設立30周年を迎え、まず、設立時からの会員の方々に感謝を込めて拍手を贈りたいと思います。設立時の70年代は、高度成長期の真っ直中にありました。80年代は、日本が世界経済の檜舞台に飛び出し、品質管理は大ブームとなりました。しかし、90年代のバブルがはじけてからは苦難の時代となり、今日、品質危機とも言べき状況にあることも率直に受け止めなければなりません。このような中で30周年記念事業を行うに際して、過去の回顧よりも将来の新たな発展をめざして次のような企画を進めています。

第1の企画は、本学会の圧倒的多数を占める産業界からの会員向けの品質管理推進功労賞の創設で、本日、その第1回授賞を行います。日本における品質管理推進の特徴のひとつは、推進者が黒子に徹するというところで、表舞台で脚光を浴びるシックスシグマのブラックベルトとは対照的です。本賞が、黒子として品質管理を推進している方々の励みとなり、品質向上に役立つこと願っています。

第2として記念誌「歩み」の刊行、第3として記念シンポジウムの開催があります。今後進めて行く企画として、学会Web機能の強化による会員サービスの向上、研究助成活動の推進、QC相談室の開設、ならびに、中部・関西両支部における記念事業があります。

以上の事業の実施には、2000万円位の資金が必要となり、名誉会員・正



会員にご寄付を、賛助会員会社には特別会費をお願いしていますが、好調な滑り出しができました。この場を借りて御礼を申し上げるとともに、未だ、申し込まれていない方、特に、正会員の皆様に、是非、ご協力の程をお願い申し上げます。

本学会正会員数は、1992年3354人がピークで、その後年々減少し、4月末にはついに2600人を切るころまでに追い込まれました。そこで、ピーク時の会員数を回復するという願いを込めて「皆(3)さん(3)来い(5)よ(4)」というスローガンのもとに、特別キャンペーンを開始しましたところ、大変ヒットしまして、昨日までに約330名の方からお申し込みを頂いています。

品質管理界も明るい陽ざしが差し始めて来たような気がしています。今回のシンポジウムが、その切っ掛けになり、21世紀の経営に取って、新たな意味で品質管理の重要性が増すことになればと期待しています。

平沼経済産業大臣から祝辞をいただき、代読された。

また、ASQ会長G.H.ワトソン氏からのメッセージの紹介があった。

詳細はHPIに掲載しております。

# おめでとうございます。

## - 第1回品質管理推進功労賞29氏が受賞 -



青木 勝	元・愛知製鋼
市川 享司	元・日産自動車
伊藤 要蔵	アイシン精機
大岡 忠芳	元・松下電子部品
小田島 弘	元・リコー
小柳津正彦	元・日本ゼオン
加藤 和彦	関西電力
加藤 治信	元・富士ゼロックス
金子 龍三	日本電気テレコムシステム
北川 清一	日本規格協会
黒島 米子	沖縄銀行
黒瀬欽次郎	元・コニカ
香村 求	元・NTTデータ
三城 侑三	関東化学
下山田 薫	元・コマツ
杉浦 忠	横河電機
杉山 哲朗	元・デンソー
高橋 美明	クボタ
堤 信也	元・松下電器産業
西野 武彦	元・前田建設工業
西山 富人	元・アラコ
新田 充	日本エネルギー経済研究所
橋詰 昭夫	九州松下電器
藤川 篤信	元・トヨタ自動車
保田 勝通	日立製作所
山野辺京子	常磐興産
山本 進	元・日野自動車工業
横山 清	元・安川電機
吉元 克己	元・横河ヒューレット・パッカー

(敬称略、五十音順)



### 選考理由の要約

いずれの授賞者も、長年勤務された本来の所属企業での品質管理推進に貢献された点がまず評価され、その上で更に、品質管理の国際的、全国的、あるいは地域における推進あるいは普及、啓発に貢献されたことが主たる選考理由となっています。

### 所属組織、グループ会社における品質管理の推進・支援

### 品質管理の国際的、全国的、あるいは地域における普及・発展への貢献



### 受賞者喜びの声

受賞者を代表して、吉元克己氏 (Quality Management Consultant (自営)元・横河ヒューレット・パカード 全社品質保証・TQC推進部門長)、山野辺京子氏(常磐興産 スパリゾートハワイアンズ 嘱託 元・同社品質保証課長)のお二人からスピーチをいただいた。

## 基調講演

日本アイ・ピーエム 最高顧問 椎名 武雄 氏  
- 物づくりから人づくりへ -

1980年代前半までの日米の品質には、大きな隔たりがあった。IBMにおいても Market Driven Quality と称し、日本的品質管理を推進し、著しい品質向上がなされた。現在2つの米国企業の役員を兼ねているが、これらの工場には、“customer”、“quality”、“team work” という標語が大きく掲げられ、かつての日本をはるかに上回る活気を呈している。現場への権限委譲、組織のピラミッド化からフラット化へ、そしてITを用いたフラットな組織のもとでの情報の共有化と透明性により、アメリカの人質が高められている。70年代の右上がりの経済とは異なる我が国の環境下、過去の栄光に甘んずることなく、新しい設定条件の下でのTQMに変わらねばならない。21世紀に再び光り輝く国を目指して。



(要約文責：鈴木和幸)

## パネル討論会

### - 1世紀の経営とクオリティ -



パネリスト：橋本 寿朗 氏(法政大学 教授 経営学部)  
藤田 昌宏 氏(経済産業省通商政策局アジア大洋州課長 / 元 産業機械課長、「ものづくり懇談会」事務局)  
高橋 朗 氏(デンソー会長 / 元トヨタ自動車副社長)  
橋詰 昭夫 氏(九州松下電器 品質本部品質管理部部長)  
パネル司会：野野 紀昭 氏(東京理科大学 教授・当学会会長)

経営に役立つ品質管理というためには、国際情勢、日本経済の動向を踏まえた上で、経営を考え、その上で品質管理がどうあるべきかを問題に国際情勢、経済、経営、現場の立場からパネリストの皆さまからお話しいただきました。また、パネリスト間での意見交換やフロアとの活発なやりとりがあった。

# 記念祝賀会 - 早稲田ガーデンハウス -

開会挨拶 山岡 建夫 氏 日本品質管理学会 副会長 30周年記念事業実行委員会 委員長 JUKI 代表取締役会長  
 祝 辞 太田 宏 氏 日本経営工学会 会長

Prof. Dr. Yoshio KONDO Chairman, International Academy for Quality (IAQ)

日本経営工学会会長 太田 宏様、IAQ会長 近藤良夫様からご挨拶をいただき、盛会に開催された。なお、同席上で当学会から  
 日本科学技術連盟 理事長 井田勝久様と 日本規格協会 理事長 坂倉省吾様に感謝状の贈呈があった。



## 今後の30周年記念事業とその具現化に向けて!

### 事業一覧

記念誌『あゆみ』の発刊  
 記念シンポジウムの開催  
 会員サービス向上施策の実施  
 研究助成活動の推進  
 QC相談室の設置  
 品質管理推進功労賞の設置 / 表彰  
 ISO9000登録審査員向けQC公開  
 講座の開催

「あゆみ」発刊 / 本部記念シンポジウム終了 / 中部支部記念シンポジウム(8月31日開催) / 関西支部記念シンポジウム(9月開催) / インターネットなどの情報技術をフルに活用することにより、会員に対する各種サービスの充実を計る / 向学心に燃える若い研究者や外国人留学生に対し、その研究活動等を側面からサポートしていく / 団体・個人を問わず、そこで抱えている品質管理に関する様々な相談事を受け、対応する / 品質管理推進功労賞の設置・表彰 / ISO9000登録審査員を対象としたQC集中セミナーを開催することにより、ISO9000をベースとした品質管理のレベル向上とその普及・発展を図ります。

### 2001年5月の入会者紹介

2001年5月22日の理事会において、下記のとおり正会員124名、準会員11名、賛助会員3社3口の入会が承認された。

(正会員)124名 小田 明(日立製作所) 勝俣恒久(東京電力) 上窪純史(昭和大学) 神谷雅則(スタンダード研究所) 木村光宏(鳥取大学) 小池博実(一正蒲鉾) 澤田昌志(アイシン精機) 田中健(日科技連出版社) 田村信幸(中央大学) 舎川徹(東京電力) 中森 理(ビューロペリタス) 野崎 通(富士ゼロックス) 杉浦孝穂(TSCコンサルティング) 平田義彰(ダイキン工業) 堀 義郎(台和) 市川享司(パワーアップ研究所) 石田啓一(富士電機) 亀岡孝三郎 崎 聡(東京ガス) 長島宣二(日本科学技術連盟) 内山史郎 塚本晋策(第一製薬) 中内誠雄(建材試験センター) 上内準一(電気安全環境研究所) 佐藤 宏 磐田電工) 児玉佑史(オフィスコダマ) 渡辺 庸(日本電工) 阿部紘一(阿部EQS事務所) 建部 悠(平成介護) 渡辺政則(富士通) 本田研二(エス・エス・ジェイ) 小野里英世 黒瀬 豊(デット・ノルスケベリタス・エーエス) 横山昭夫 池田豊喜 黒田晃綱(日本山村硝子) 高見昭雄(日本特殊陶業) 大澤幸夫(電気安全環境研究所) 田中庸雄(防衛調達基盤整備協会) 加藤 和彦(関西電力) 山野辺京子 堀 忠市(電気技術開発) 木村恵英(木村技術士事務所) 笠井政男(アルケア) 戸部登喜一(戸部技

術士事務所) 乗松敬享(共栄建設) 高橋正明(松下電器産業) 杉山 悟(矢崎計器) 木村恵一(テクノキムラ) 恵美良太郎 坂井善行(小田急建設) 伊藤美喜男(東日本電信電話) 原田憲夫(グローリー機器) 栗野活夫(エヌ・ティ・ティ エムイーコンサルティング) 太田謙治(信越ポリマー) 荻原昌幸(建材試験センター) 鈴木康隆(ケーヒンエアコン) 黒島米子(沖縄銀行) 橋本 堅(ナカボーテック) 中村泰昌(中村QBM事務所) 山下 勝(アームコンサルティング) 原田 孝(価値経営研究所) 安達公朗(九州設備公社) 宮川 宏(エヌ・ティ・ティ エムイーコンサルティング) 濱本忠之(関西CIC研究所) 石井正良(東洋技術研究所) 素本博之(日本ピラー工業) 増井國男(富士通テクノシステム) 小澤 豊(日本電子部品信頼性センター) 井上宏文(和歌山グローバルマネジメント) 林洋一(林コンサルティング事務所) 船木晃一(三菱電気システムサービス) 上田昌美 佐々秀夫(東海大日本印刷) 田辺 宏(エヌシーアイ電子) 小林昭夫(日本科学技術連盟) 住吉明郎(豊和工業) 伊藤昌広(クボタ) 白井 英(白井ISOシステム企画) 中川直人(富士通) 池北 實(イシダ) 吉田紀昭(協和テクノロジーズ) 後藤睦男(後藤コンサルタント事務所) 三佐藤忍(行政書士三佐藤忍事務所) 本間香介(キヤノン) 月野和士 鈴木 武(日本海事検定キューエイ) 田中康夫(山武) 井出 朗 小澤雪絵(大雄会一宮専門学校) 根本三千夫(三菱化学ピーシーエル) 亀屋秀樹 村上 克一(清水建設) 松林正信 武田光司(サーティファイケーション・インターナショナル・ジャパン) 森塚高彦 野村

昌広(北澤電機製作所) 大木 弘(日本電気) 高橋健司(千代田化工建設) 仲村宏一(グローバルテクノ) 藤村光司(Fビジネスインテリジェンスオフィス) 馬場 茂(デビックスインターナショナル) 中村澄雄 西島秀昭(東京セキスイ工業) 加藤真郎 井達義博(精研工業) 石渡昭夫(AIコンサルティング) 舟橋金之介(ビジネスパリュークリエイション) 山本祐三(イービーエス) 徳田博美(丸島アクアシステム) 青地一守(ジェーネットプランニング) 柴田雅男(ペリジョンソソコンサルティング) 宿谷正夫(大日本インキ化学工業) 神田克美(東京ラヂエーター製造) 大西正幸(テクノライフ) 小原克仁 勝又規光(日本エクセレントカンパニー開発) 白田勝夫(ミツミ電機) 島田敏則 柳澤 明(光明総合研究所) 竹村昇(ソニーエンジニアリング) 村田邦彦 松尾一也(アカデミックサービス) 角谷恭吾

(準会員)11名 小林宏行(成城大学) 森 英樹(早稲田大学) 安井清一・神野 学・クーユンフン(東京理科大学) 山口正継・韓 笑・鈴庄拓也・山田大介(中央大学) 辻 武史・佐藤達明(朝日大学)

(賛助会員)3社3口 寿精版印刷(専務取締役 鷲尾和彦) 横河電機(経営品質保証室 部長 杉山博男) 日本特殊陶業(取締役社長 金川重信)

正 会 員 : 2725名  
 準 会 員 : 102名  
 賛 助 会 員 : 190社, 215口  
 公 共 会 員 : 21口

## ご協力ありがとうございます!

- 30周年記念事業募金活動 -

特別会費・寄付金中間集計報告  
賛助会員特別会費 (2001.6.15現在)

82社 計 12,850,000円

正・名誉会員寄付

118名 計 2,440,000円

合計 15,290,000円

ご協力厚く御礼申し上げます。

なお、現在も募集中です。下記口座まで  
どうぞよろしくお願い申し上げます。

**第一勧業銀行**

渋谷支店： No.4695786

口座： 日本品質管理学会

30周年記念特別会費

## お知らせ

### 役員・評議員選挙告示

日本品質管理学会第31年度～  
第32年度(2001～2003年)の役員な  
らびに評議員の選挙を次の日程で行  
います。

投票用紙発送：7月23日～27日

投票締切日：8月31日 当日消印有効

開票日：9月6日

### 2001年度日経品質管理文献賞 応募・推薦文献募集のお知らせ

デミング賞委員会では、現在標記文献の受付を行っております。  
詳細につきましては、デミング賞委員会事務局までお問い合わせく  
ださい。

デミング賞委員会事務局:

日本科学技術連盟事業部内

TEL: 03-5378-1212 FAX: 03-5378-9842

E-mail: s-yaguchi@juse.or.jp

## 行事案内

### 第83回シンポジウム(本部)

テーマ：次世代型小集団による新たなT  
QMの展開 ホワイトカラーの巻き  
込みと技能・技術の伝承と深化

日時：2001年9月3日 9:25～17:00

会場：早稲田大学理工学部 57号館201室

内容：特別講演

チーム活動の変遷と次世代型小集団活動

ライン中心活動の薦め

川瀬武志氏 (GNN)

### 次世代型小集団活動への提案

シックスシグマを通じて

八木洋介氏( GEメディカルシステムズ)

チームワークを見つめて

野渡正博氏( 玉川大学)

現場中心の小集団改善活動の実践  
を通じて

下村 茂氏( 富士ゼロックス )

トヨタでの実践を通じて

林 南八氏(トヨタ自動車 )

### パネルディスカッション

パネルリーダー 天坂格郎氏( 青山学院大学)

メンバー 上記提案者4名

### 第9回ヤングサマーセミナー(本部)

会期：2001年8月30日～8月31日

会場：NTT保養施設「ゆかり荘」

住所：鎌倉市材木座5-7-5

参加資格：準・正会員

(原則として満35歳以下)

参加費：無料(交通費自弁)

申込方法：同封の申込書を参照下さい。

申込締切：2001年7月25日

定員：35～40名

### 第82回シンポジウム(関西支部)

テーマ：「ベンチャーマインドとデータマイニング」

日時：2001年7月19日 13:00～17:00

会場：大阪・中央電気倶楽部

(大阪市北区堂島浜2-1-25)

内容：経営における情報の持つ価値

は、質・量の両面からいかに処理するかと  
いうテクニックや手法だけでなく、いかにし  
て母集団を適的確に観察・分析して、処  
理した結果を母集団に役立てるかという  
仕組みを議論できればと思います。

定員：100名

参加費：会員3,000円、準会員1,500円

非会員4,000円、一般学生2,000円

申込方法：同封の開催案内をご参照下さい

### 第67回研究発表会(中部支部第19回)

日時：2001年7月26日

研究発表会 13:00～18:00

懇親会 18:15～19:30

会場：名古屋工業大学(名古屋市中昭和  
区御器所町)

定員：150名

参加費：会員4,000円、準会員2,000円、

学生(一般)3,000円、非会員6,000円

懇親会5,000円(会員・非会員

を問わず)

申込方法：中部支部宛にE-mailまたはFAX  
にて会員No.・氏名・勤務先・所  
在地・所属・電話番号を明記のう  
え申込みください。

E-mail: nagoya51@jsa.or.jp

F A X : 052-203-4806

### 30周年・中部支部20周年記念

#### 第81回シンポジウム(中部支部第20回)

日時：2001年8月31日 10:00～16:50

会場：名古屋市中企業振興会館(吹  
上ホール)メインホール(名古屋  
市千種区吹上2-6-3)

17:15～展望ホールにて

本部・中部支部共催祝賀パーティー

テーマ：「21世紀の企業に求められ

ているもの -

ものづくり・人づくりの原点から

の再出発」

内容：基調講演 飯塚悦功氏(東京大学)

1) 富田務氏(トヨタ自動車)

2) 武山博氏(未来工業)

3) 澤田善次郎氏(椋山女学園大学)

パネルディスカッション

定員：300名

参加費：会員5,000円、準会員2,500円、

学生(一般)3,500円、非会員7,000円

申込方法：研究発表会と同じ

### 30周年記念

#### ISOマネジメント・システム公開講座

会期：2001年8月～2002年3月

毎月1回 計8回

第1回：8月24日 18:00～

20:00(質疑30分含)

会場：日本科学技術連盟

東高円寺ビル

定員：150名(先着順)

参加費：全コース8回：学会員21,000

円、非学会員35,000(一括払

い)各1回参加の場合：学会

員3,000円 非会員 5,000円

申込方法：同封の開催案内をご参照ください。

E-mail: apply@jsqc.org

### 第25回クオリティバブ(本部)

テーマ：英国規格協会BSIのアジア拠点  
としての日本

その世界戦略をさぐる

スピーカー：吉村正道氏BSIジャパン副社長

日時：2001年9月14日 18:00～20:30

会場：日本科学技術連盟

東高円寺ビル5階研修室

参加費：会員2,000円 非会員2,500円

聞きどころ ISO9000シリーズの先駆けとなっ  
たBS5750を創案した英国規格協会BSIとして、  
その後世界的に広がったマネジメントシステムの  
進展をどのように捉え見守って来られたか。また  
東南アジアの拠点として香港・日本を考えられた  
経緯、並びにどのような国際戦略のもとで、行動  
されたかを日本の責任者としてお話しします。